

## 認知・行動

視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用し、ひとりひとりの認知や感覚の偏り、特性に合わせた支援で認知機能の発達を促します。自分に入ってくる情報や状況を把握・理解し、行動につなげられるよう支援します。認知や行動の手掛かりとして、物の機能や属性、形、色、音の変化、大小、数、重さ、空間、時間などの概念を学び、個別学習課題やビジョントレーニングに取り入れて支援します。こだわりや偏食の改善には、個々に合わせた対応や食育支援を行います。また、コミュニケーションの困難さや認知・感覚の特性から生じる行動障害の予防と、適切な行動ができるよう支援します。

## 言語コミュニケーション

コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けるため、お子様の障害や特性・成長に応じた会話やマカトン、ジェスチャー、絵カード等を用いて円滑な意思疎通が行えるよう支援しています。相手の考えや行動を理解し、自らの考えや行動を伝えられること、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得、場面に応じた適切な言動や関わり方、自信を持ってコミュニケーションができるよう、SSTトレーニングや個別学習、活動を通じて支援を行っています。読み書き能力の向上や言語表出などは、障害の特性や成長に合わせて、言語聴覚士の助言をもとにした支援や個別指導を行っています。



## 健康・生活

毎日の検温や手洗いなどを通じて、ひとりひとりの健康状態を把握します。また、始まる会の挨拶や日付・天気の確認を習慣として取り入れます。意思表示が困難なお子様に対しては、障害や発達の特性を考慮し、体調の変化に敏感に気づけるよう観察を行います。さらに、清潔な身の回りや楽しい食事ができるような食育支援、衣服の着脱や排泄など、基本的な生活スキルの獲得を支援します。構造化や環境整備を行い、生活の中で主体的な行動を増やせるよう支援します。

## 放課後等デイサービス

## ハルちゃん happy smile



## 運動・感覚

動作の基本となる姿勢保持や身体機能の向上、動作の改善、筋力の維持・強化を目指した運動プログラムや毎日の体操に取り組んでいます。施設での生活の中では、視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚などの感覚を十分に活用し、障害の状態や発達の段階、興味関心、感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）なども踏まえた遊びや活動の支援を行っています。感覚の偏りがある場合には、他の感覚や機器による代行ができるよう、環境調整や補助機器を活用して支援を行っています。

## 人間関係・社会性

子どもが環境・人・自分に対する信頼感を持ち、人間関係や集団での活動をスムーズに行えるように、SSTなどを取り入れた支援を行います。感情のコントロールが難しい時や不安を感じた際には、相談ができ、気持ちを伝えられることで安心感を得るとともに、自分の感情を理解し、気持ちのコントロールや情緒の安定を目指せるよう支援します。人間関係や集団活動においては、相手の気持ちや意図を理解し、集団活動の参加手順やルールを理解する力を深めます。これにより、遊びや集団活動に積極的に参加し、相互理解やコミュニケーション、場面に応じた適切な行動ができるようサポートします。遊びを通じて人の動きなどを模倣し、一人遊びからお友達との役割分担やルールを守った共同遊びへと移行できるよう支援し、人間関係や社会性の成長を促します。